

胃アニサキス症における症状出現に關与する臨床的因子の研究

1. 研究の対象

2015年10月～2021年10月に当院を含めた下記研究施設で胃アニサキス症と診断された方

2. 研究目的・方法

生魚摂取を習慣とする本邦では、食道中毒発生状況としてアニサキスが2018年から2020年度まで、事件数としては第一位であった。消化管アニサキス症は急性腹症の鑑別として挙げられ、胃アニサキス症が最も多いとされている。一方で検診やスクリーニングの上部消化管内視鏡時に無症状で偶発的に発見される症例もしばしば経験する。これまで胃アニサキス症に関する報告では、胃粘膜萎縮度と症状出現との関連性やアニサキスは非萎縮粘膜に刺入する傾向が示唆されているが、いずれも単施設の少数例での検討であり、臨床的背景因子と症状出現の有無について十分な検討はされていない。そこで、上部消化管内視鏡検査を施行し胃アニサキス症と診断した症例を解析し、症状出現に關与する臨床的因子について検討することを目的とする。研究機関は2021年11月(倫理委員会承認後)～2024年10月とする。

診療記録を閲覧しながら、患者様の個人情報と排除して、病歴、既往症、内服薬、検査所見などの医学情報の解析を実施し、胃アニサキス症における症状出現に關与する因子を検討する。

3. 研究に用いる資料・情報の種類

2015年10月～2021年10月に胃アニサキス症と診断された患者(全体260名、当院60例)のカルテ情報(年齢、性別、既往症、内服薬の状況、H.pylori感染の有無、内視鏡所見等)

4. 外部への資料・情報の提供

データセンターへのデータ提供は、関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は当院において消化器内科 岡川が保管・管理します。

5. 研究組織

斗南病院、留萌市立病院、小樽掖済会病院、王子総合病院、製鉄記念室蘭病院、伊達赤十字病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

北海道札幌市北4条 西7丁目 3-8

斗南病院 消化器内科 担当医師 岡川 泰

電話 011-231-2121(斗南病院 代表電話) FAX 011-231-5000

◆個人情報利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第6章第16の1(3)>

①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合

②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合